

応募申込日：令和 年 月 日

第9回 JAPANコンストラクション国際賞

応募申込書

中堅・中小建設企業部門

I 応募者概要

1. 会社名 (和文名及び英文名)	
2. 所在地	〒
3. 連絡先	ご担当者名： 部 署： 電話番号： E-mail：
4. 応募分野 ※ 該当するものに○を入れて下さい(複数該当する場合、主な分野には◎を入れて下さい)。	<input type="checkbox"/> 設計 <input type="checkbox"/> 施工 <input type="checkbox"/> 測量 <input type="checkbox"/> 建設資機材等 <input type="checkbox"/> その他 ()

II 企業概要

1. 本社所在地	
2. 創業（設立）年月	
3. 資本金	
4. 従業員数	
5. 支店	
6. ホームページ	
7. 事業内容	

III 海外における事業内容

- 応募者の海外事業について、各項目に該当する事項を記載して下さい。審査基準のうち「積極的かつ持続可能な海外展開をしているか」及び「他社の参考となるパイオニア性のある事業展開ができているか」については、1. から4. の項目の記載内容を中心に評価します。特に先導的に実施している内容、独創的なアイディアや技術、戦略的な努力や取組、今後の展望や継続するための工夫等については、具体的に記載して下さい。

1. 海外進出の経緯・背景（概ね300字以内）

※ 特に中長期的・戦略的な取組があれば、その点についても記載して下さい。また、進出にあたりJICAの民間連携事業を活用した場合は、その内容を記載して下さい。

2. 海外事業の状況

(1) 海外事業の概要（概ね500字以内）

① 事業概要

② 進出国・時期

③ 海外における自社の技術・商品等の強みやその他、特筆すべき事項

補足説明：例えば以下の観点などを参考に具体的に記載してください。

- ・日本企業の進出が少ない地域での事業実施。
- ・日本独自または自社独自の技術を活用した海外展開、現地の状況に合わせて独自に開発した工法や技術、新しいビジネスモデルの展開。
- ・本邦技術や画期的な提案によって受注に結びつけた事例。
- ・支店等の拠点を設けて長期的に地域展開を図っている取り組み。

(2) 海外事業の実績・リスク管理

①直近3年の海外売上高

	海外売上高（円）
令和4年度	
令和5年度	
令和6年度	

②これまでの主な受注実績（5つ以内）※ライセンス供与等も含む

受注工事・契約名	国名	発注者	契約金額	契約工期	工事等契約内容 (ODA案件/JICA民間連携事業 /現地公共/現地民間発注等)

③海外展開におけるリスクへの対応状況（300字以内）

補足説明：例えば以下の観点などを参考に具体的に記載してください。

- ・赴任者や現地作業員の安全確保のための体制や緊急時対応の仕組み。
- ・契約上のトラブルや未払いリスクを回避するための方策。
- ・その他、独自の工夫。

（記載例）

- ・契約トラブルを避けるため、〇〇といった工夫をしている
- ・自然災害やテロ発生に備え、組織として〇〇といった取組を行っている 等

3. 将来展望（300字以内）

補足説明：例えば以下の観点などを参考に、今後の展開方針や取組方針、事業の見通し等について記載して下さい。

- ・応用性が高く、広く展開可能な技術や、時代の要請に応じた商品・サービス等、将来性や戦略性。
- ・その他、特筆すべき取り組みや工夫等。

4. これまでの報道・表彰等の実績（300字以内）

5. 質の高いインフラ投資に関する G20 原則の原則 1～5 に沿った「質の高いインフラを実現しているか。

(参考) 質の高いインフラ投資に関する G20 原則 (仮訳)

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/G20/osaka19/pdf/documents/jp/annex_01.pdf

- 各項目に該当する特徴を記載して下さい（各項目について300字以内）。該当する事項がない場合は、「該当なし」と記入して下さい（各項目は評価項目に該当しますので、できる限り全ての項目について記載をお願いします）。
- 元請の指示等による取組であっても、G20 原則に該当する事項があれば記入して下さい。

①持続可能な成長や開発の達成のための、インフラによる正のインパクトの最大化（原則 1）

- ・経済活動の好循環の実現
- ・持続可能な開発や連結性の促進

補足説明：例えば以下の観点を参考に具体的に記載してください。

- ・現地人材の雇用や技術者の育成、技術やノウハウの移転等。
- ・その他、地域社会や経済に長期的な好循環及び持続可能な開発や連結性の促進をもたらす独自の工夫。

(記載例)

- ・施工に関わったインフラによって、現地に〇〇といった経済効果が生まれた
- ・現地で作業員を雇用し、〇〇に関する技術を指導した 等

② ライフサイクルコストを考慮した経済性向上（原則 2）

- ・ライフサイクルでのコストとベネフィットの考慮
- ・事業遅延・コストオーバーラン・供用開始後のリスク軽減に係る戦略

補足説明：例えば以下の観点を参考に具体的に記載してください。

- ・計画段階での提案や運営・維持管理における工夫、ライフサイクル全体でのコストベネフィットやリスク軽減の考慮。

その他、ライフサイクルコストの観点から経済性向上に寄与する独自の工夫。

（記載例）

- ・設計に関わったインフラは、〇〇技術が採用されているため維持管理コストが低減された
- ・施工に関わったインフラは、〇〇により工期を短縮し、遅滞なく工事を完了できた 等

③ インフラ投資への環境配慮の統合（原則 3）

- ・ライフサイクル全般での環境配慮
- ・環境への影響に関する透明性の確保

補足説明：例えば以下の観点を参考に具体的に記載してください。

- ・事業概要やその効果に関する記載、企業として環境貢献に向けた工夫や提案、さらに計画段階から運営・維持管理に至るまで環境面への配慮を行っている取り組み。

・その他、特筆すべき環境配慮の工夫。

（記載例）

- ・施工に関わったインフラは、〇〇により温室効果ガスの発生や生態系への影響を抑えている
- ・〇〇技術を使用することで、施工中の粉じんや騒音を防止している 等

④ 自然災害及びその他のリスクに対する強靭性の構築（原則 4）

- ・堅実な災害リスク管理

補足説明：例えば以下の観点を参考に具体的に記載してください。

- ・耐震・耐風設計や施工中の災害対策などの一般的な取り組み。
- ・計画段階から施工中にかけて実施している工夫。
- ・その他、災害リスク管理に関して特筆すべき取り組み。

⑤ インフラ投資への社会配慮の統合（原則 5）

- ・インフラ・サービスへの開放的なアクセスの確保
- ・ライフサイクルを通じた包摂性の実践
- ・女性を含む全ての労働者への機会提供
- ・建設現場・周辺コミュニティの双方における安全面・健康面の条件整備

補足説明：例えば以下の観点を参考に具体的に記載してください。

- ・広範囲の人々にサービスを提供する開かれた施設の整備、工事中の安全管理や宗教・地域コミュニティへの配慮、幅広い雇用機会の創出、女性や人権・多様性への配慮、さらに現地での啓蒙活動（感染症対策や安全意識の向上など）といった取り組み。
- ・その他、社会配慮に関する特筆すべき工夫。

6. 会社PRを120字以内でご記入下さい。

7. 応募のきっかけについてご記入下さい。

IV 事故等調査

貴社について、令和元年から現在において、海外事業での工事中における死亡事故発生の有無、その他重大な事故等の発生の有無及び建設業法に基づく営業の停止及び許可の取消し又は「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領（令和2年12月25日 国会公契第22号）」に基づく指名停止措置を受け、その期間が令和7年4月1日から令和8年3月31日までにかかる場合、下記【 】に○印をつけてご回答下さい。

※ 日本人スタッフ、現地スタッフ、自社社員、協力会社社員、工事関係者、工事関係者以外の方（公衆災害）、工事敷地内外を問わず、当該プロジェクトに起因した事故は全て対象とします。

1. 死亡事故発生の有無

- 【 】発生していない。
【 】発生した。

※ 事故及び事故処理の詳細を記入して下さい。（極力詳細にご記載下さい。）



2. その他重大な事故等発生の有無

- 【 】発生していない。
【 】発生した。

※ 事故及び事故処理の詳細を記入して下さい。（極力詳細にご記載下さい。）



3. 建設業法に基づく営業の停止及び許可の取消し又は「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領（令和2年12月25日 国会公契第22号）」に基づく指名停止措置の有無（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

- 【 】発生していない。
【 】発生した。

※ 事故及び事故処理の詳細を記入して下さい。（極力詳細にご記載下さい。）



V ヒアリング候補日

応募後、記載内容についてのヒアリングを速やかに行うため、ヒアリング対応が不可な日程に×印をつけてご回答下さい。ヒアリングは1時間程度のオンライン実施を想定します。

※ヒアリングの項目・日程については、候補日を参考に別途調整させて頂きます。

※候補日はあくまで参考とさせて頂きます。

	3/2（月）	3/3（火）	3/4（水）	3/5（木）	3/6（金）	3/7（土）	3/8（日）
AM							
PM							
	3/9（月）	3/10（火）	3/11（水）	3/12（木）	3/13（金）	3/14（土）	3/15（日）
AM							
PM							
	3/16（月）	3/17（火）	3/18（水）	3/19（木）	3/20（金）	3/21（土）	3/22（日）
AM							
PM							
	3/23（月）	3/24（火）	3/25（水）	3/26（木）	3/27（金）	3/28（土）	3/29（日）
AM							
PM							
	30（月）	31（火）	4/1（水）	4/2（木）	4/3（金）	4/4（土）	4/5（日）
AM							
PM							

添付資料

- 上記「Ⅲ 海外における事業内容」を説明するために必要な写真や図面等がありましたら、添付して下さい。
- 直近3期分の決算書を添付して下さい。
- 経営事項審査を受けていれば、その結果を添付して下さい。
- その他、参考となる資料がありましたら添付して下さい。